

【本日の訓練方法】

- 1 下記津波発生シナリオの被害状況を考慮し、各施設の目標復旧期間について検討
- 2 目標復旧期間を踏まえ、優先して復旧させる漁業種類を検討

津波発生シナリオ

- 津波発生日：3月10日（金）午前10:00
 - 地震：佐渡北方沖断層で地震が発生、境港周辺に大津波警報が発表
 - 津波：最大津波高：3.7m
 - 津波到達予想時間：境港市への海面変動30cm到達時間は111分、最大津波到達時間は183分
 - 市場の被害：津波により全ての岸壁及び1号・2号・陸送上屋の1階部分が浸水し、漁船及び荷揚機材の流出、漂流、沈没。漂流物による境水道部の閉塞が生じ、船舶航行障害と水揚能力が低下。
 - 漁船・漁具：沖合漁業船は避難し大きな被害なし。
- 沿岸漁業の漁船多数沈没、浸水あり。定置網は一部で流出。

荷捌所の被災イメージ



<参考>境港市の被害想定

- 死者：60人、負傷者300人
- 避難所避難者数：220人
- 建物：全壊30棟、半壊960棟
- 停電件数：被災直後40件、1週間後10件
- 上水断水件数：被災直後70件、1週間後10件
- 通信回線不通率：被災直後0.2%、1日後以降0.1%

1 各施設の目標復旧期間（令和2年に荷受業者と事務局で協議）

施設	目標復旧期間	BCPの記載
航路・漁場 (浮遊物、ガレキ除去)	1ヶ月	P54
沖合漁業の漁具の確保	1週間	P55
沿岸漁業 (定置網の復旧、漁船修理)	6ヶ月	P55
漁港のガレキ撤去	1ヶ月	P56
岸壁確保	1ヶ月	P56
陸電機能	3ヶ月（船の発電機使用により水揚げに影響なし）	P57
荷捌所	2週間～1ヶ月	P60
荷捌機材の確保 (パレット、タンク類)	2～3週間 (パレット・タンクは千葉の工場で作っており、1週間以内にタンク50～100個パレット1000枚 手配可能)	P61
トラックスケール	2週間（本体修理） 10日間（可搬式トラックスケールレンタル） 宝計器製作所 無線式ロードメーターRWN-900F	P61
冷蔵庫修理（室外機の手配）	小型2週間、大型3ヶ月	P61
リフト	1日 (内陸部に住む荷受職員が計量と回転リフトを優先して屋上へ避難。魚市5台、県漁協3台) (砕氷リフトは事務所職員が貯氷庫へ移動)	P62
電気	1週間	
水と氷の確保	2～3日（清浄海水復旧まではブリ類は無選別となる）	P63, P64
臨港道路の確保	1ヶ月（3～7号岸壁までのアクセス道路を優先）	P66

2 優先して復旧させる漁業種類（令和2年に荷受業者と事務局で協議）

- ・3～7号岸壁は瓦礫を除去さえすれば、沖底、ベニ籠、旋網を時間差で水揚げできる。
⇒3～7号上屋を優先して復旧させ、発災後1ヶ月以内で業務再開を目指す。
- ・陸送、1～2号上屋は閉鎖型であるため復旧に時間がかかる。
⇒被害の少ない上屋を優先して復旧させ、発災後2ヶ月以内で業務再開を目指す。